



平成 25 年 7 月 19 日

各 位

会 社 名 藤 久 株 式 会 社  
FUJIKYU CORPORATION  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 後 藤 薫 徳  
(コード：9966 東証第一部・名証第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 総 務 部 長 佐 藤 哲 雄  
(TEL 052-774-1181 代表)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月22日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成25年6月期通期業績予想数値の修正（平成24年7月1日～平成25年6月30日）

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	22,202	823	842	△270	△64円21銭
今回修正予想 (B)	22,353	1,045	1,064	△87	△20円92銭
増減額 (B-A)	151	222	222	183	—
増減率 (%)	0.7	27.0	26.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年6月期)	22,572	1,000	1,088	271	64円61銭

### 修正の理由

売上高につきましては、第3四半期累計期間の既存店が前年同期比4.5%減少と厳しい状況で推移し、第4四半期会計期間については前年同期比3.3%減少となりましたものの、ポイント引当金の見積り方法の変更による177百万円を計上する見通しとなり、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

これは、ポイント制度に基づき顧客に付与したポイントの利用に備えるため、システムデータに基づき将来の利用が見込まれる額をポイント引当金として計上しておりましたが、当期末において将来失効が見込まれるポイントを見積るのに十分な過去実績が蓄積され、より精緻な見積りが可能となったため、当期末より当該ポイントに係る金額をポイント引当金残高から控除することといたします。

利益面につきましては、売上高増加のほか、第3四半期に引き続き売上減に対応したコストコントロールに努めてまいりました結果、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。さらに、当期純利益は土地を含めた固定資産の減損損失60百万円を特別損失に計上する見通しでありますものの、損失額が減少する見込みとなることから、前回発表の通期業績予想について、上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上